

## 令和元年度第2回埼玉県公共事業評価監視委員会 会議要旨

### 1 事前評価実施事業の審議・取りまとめ

#### ① 201 大規模特定河川事業 一級河川 柳瀬川

委員： 事業の妥当性を判断するうえで、改めて B/C の値の大小は、どのように評価されるのか。

事業課： B/C の値は、事業の採否を判断する1つであり、1以上であることが必要性の目安である。値の大小で事業の優劣を決めるものではない。

委員： 前回も今回も、B/C が1以上であり、必要性は変わらないことを確認するということがよいか。

事業課： その通りである。B/C の値を修正したことから、改めて説明したものである。

委員： 柳瀬川の上流では、今後どのような整備が計画されているか。

事業課： 治水上ネックとなっている清柳橋の架換えと、その前後の河道整備を予定している。

#### ○対応方針（案）について

会長： 前回の「新規事業箇所とする」という県の対応方針案に対する「付帯意見なしの了承」という結論について、改めて確認ができたということによいか。

委員： 異議なし。